

《第136回》 令和六年十月の作品

〈十月十一日（金） 於・文京区民センター3E〉

晨るや添水の響く古刹にゐ
（隆治）

灯されて秋深みたる堂の奥
（一江）

秋日さすベッドの義母ははの笑顔かな
（正佳）

逝く秋の入日校舎の玻璃に燃ゆ
（芙紗）

長湯して夜長を遊ぶおやこ父娘かな
（孝昭）

待宵の月と星座と己が影
（奉男）

秋なれど気温三十五度の誕生日
（正雄）

りんご剥く音のみ聞こゆ夜の卓
（平六）

夕陽さす中やおしね晩稲の青々し
（前歩）

秋場所や銀杏の結えぬ大の里
（貴美）